

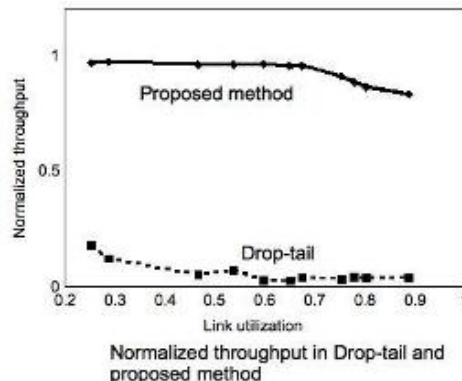
タイトル

PDoS攻撃を抑制するためのパケット廃棄情報を用いたバッファ制御方式

Queue Management Scheme Based on Dropped-packet Information to Restrict PDoS Attacks

概要

PDoS(Pulsing Denial-of-Service)攻撃は、将来の便利でかつ安全なネットワーク利用のために、最優先で対策しなければならない攻撃の1つである。PDoS攻撃とは、攻撃者が大量のトラフィックを短時間に加え、スループットを低下させるものである。既存方式には、誤判定により通常のバースト的フローさえも抑圧してしまうという問題があった。我々の提案した方式では、パケット廃棄数を用いて悪意のあるフローを高い精度で判定し、判定されたフローのみに対しバッファ内のパケット数を制限することができる。これにより、通常のフローのスループットを低下させずに、PDoS攻撃だけを抑圧することに成功した。



URL

産業界への展開例・適用分野

本研究はネットワークを悪意のある攻撃に対して強くする技術であるので、ネットワークオペレーション、ネットワークサービス、ネットワーク機器開発分野に広く適用できる。

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職(学年)
展示担当者	岩成 祐樹	通信情報システム	高橋研究室	修士1年